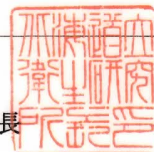


# 温 泉 分 析 書 別 表

1 源 泉 名 :		
2 源 泉 所 在 地 : 北海道川上郡弟子屈町美里4丁目18番46		
3 温泉分析申請者 : 川上郡弟子屈町美里4丁目7-10 <span style="float: right;">ペンション Biraō 東 和彦</span>		
4 泉 質 : アルカリ性単純温泉 (アルカリ性低張性高温泉) (旧泉質名: 単純温泉)		
5 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。		
浴	禁忌症	急性疾患 (特に熱のある場合)、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患 活動性の結核、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (特に初期と末期)。
	適応症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、疲労回復 慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、健康増進。
飲	禁忌症	
	適応症	
浴用、飲用の 一般的注意事項		<p>1 入浴の方法及び注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。</li> <li>(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。</li> <li>(3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。</li> <li>(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。</li> <li>(5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴 (42℃以上) を禁忌とする。</li> <li>(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。</li> <li>(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。</li> <li>(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。</li> <li>(9) その他</li> </ul> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。</li> <li>(2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。</li> <li>(3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。</li> <li>(4) その他</li> </ul> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい</p> <p>(注) この別表は、温泉法第14条による掲示に必要な参考資料となるものである。</p>
平成 21 年 3 月 23 日		

決定者 北海道立衛生研究所長



## 北 海 道

この温泉は、新たに表示が義務付けられた①加水、②加温、③循環 (ろ過含む) 及び④消毒処理 (又は入浴剤使用) の4項目のうち該当する項目の表示について確認しました。お気づきの点がありましたら所管の保健所又は道庁医療業務課へご連絡ください。

平成21年12月25日発行

No. 170

保健所